



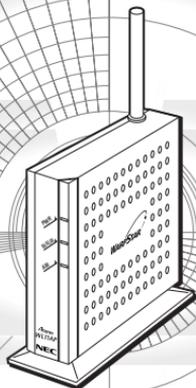
Aterm® WL11AP



アクセスポイント

取扱説明書

このたびは、『Aterm WL11AP』をお選びいただきありがとうございます。ご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



はじめに

エーターム

『Aterm WL11AP』は、有線 LAN に接続してワイヤレス LAN のアクセスポイントとして使用することができます。ご利用いただけるワイヤレス子機は、次の通りです。(平成 14 年 11 月現在)

- ・ WL11C、WL11CA、WL11CB、WL11U、WL11E2
- ・ IEEE802.11b 準拠の各社ワイヤレス LAN 機器

WL11E (サテライトモード) は WL11AP が WDS (Wireless Distribution System) に対応していないため、ワイヤレス子機としてご利用になれません。

最新のワイヤレス LAN 機器の動作確認情報はホームページ「Aterm Station」をご確認ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

本商品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等 (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm (エーターム) インフォメーションセンターにお問い合わせください。

本商品は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS : 変調方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であること
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Netscape®、Netscape Navigator® および Netscape Communicator® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

“PlayStation” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。

JavaScript® は米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。

Windows® は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2002、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

目次

目次	2
安全に正しくお使いいただくために	3
1 はじめにお読みください	1-1
1-1 WL11AP ができること	1-2
1-2 添付品を確認する	1-3
1-3 各部の名前とはたらき	1-4
2 設置・接続	2-1
2-1 WL11AP を設置する	2-2
2-2 WL11AP を接続する	2-3
3 設定する	3-1
3-1 WL11AP を設定する	3-2
3-2 子機を使用する	3-21
3-3 WWW ブラウザでの設定について	3-34
4 お困りのときは	4-1
4-1 トラブルシューティング	4-2
4-2 WL11AP を初期化する	4-4
5 付録	5-1
5-1 WL11AP 製品仕様	5-2
5-2 お問い合わせ	5-3

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警告

電源

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグ（ACアダプタ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

本商品のACアダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。他のACアダプタを使用すると火災、感電、故障の原因となります。

本商品添付のACアダプタ（電源プラグ）は日本国内用AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

警告

こんなときには

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。

万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他の注意事項

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から 22cm 以上離して使用してください。
電波により影響を受ける恐れがあります。

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

注 意

設置場所

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・横向きに寝かせる
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

注 意

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

電源

本商品の AC アダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ（電源プラグ）を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電、故障の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

本商品の AC アダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

その他のご注意

雷が鳴りだしたら、電源コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

取扱説明書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

STOP お願い

設置場所

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。

本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP お願い

禁止事項

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

日ごろのお手入れ

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからがきしてください。

無線 LAN に関する注意

無線 LAN 接続は、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ遅くなることがあります。

無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

その他注意事項

通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。



1

はじめにお読みください

1

WL11AP を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

- 1-1 WL11AP ができること 1-2
- 1-2 添付品を確認する 1-3
- 1-3 各部の名前とはたらき 1-4

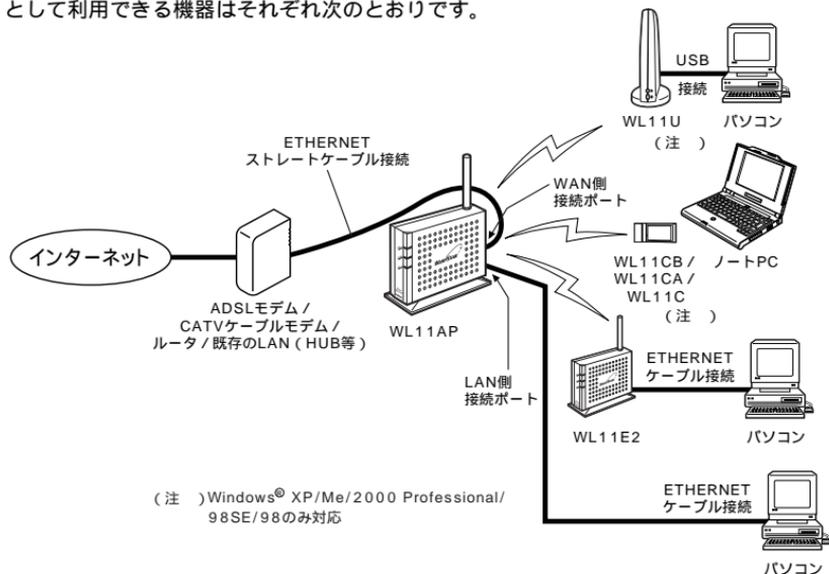
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

1-1 WL11AP でできること

本商品は WARPSTAR サテライト (WL11E2 / WL11U / WL11CB / WL11CA / WL11C)、IEEE802.11b 規格に準拠の無線 LAN 通信機器と接続できるワイヤレス親機 (アクセスポイント) です。

WAN 側接続ポートの他に LAN 側接続ポートを準備しておりますので、有線でパソコンやゲーム機などつないでご利用になることができます。

WAN 側接続ポートまたは LAN 側接続ポートに接続できる機器およびワイヤレス子機として利用できる機器はそれぞれ次のとおりです。



複数のパソコンで同時に通信を行う場合は、本商品をルータ機能搭載機器 (ルータタイプのモデムなど) に接続してください。

また、ブリッジタイプの ADSL モデムでも、マルチセッション対応の回線契約によっては、複数台同時使用が可能です。

WL11AP は、既存のルータに ETHERNET 接続することができます。

別売りの WARPSTAR のサテライト (子機) を増設することができます。

増設できる WARPSTAR サテライトは、32 台までです。10 台以下でのご使用をお勧めします。

WL11E (サテライトモード) はワイヤレス子機としてご利用になれません。

WL11C/WL11U を接続する場合は、128bitWEP はご利用になれません。

(「WEP について」 P3-20)

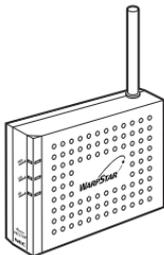
WL11AP で使用できる動作確認済ワイヤレス機器の最新情報は、つなぎかたガイドのインフォメーションサービスに記載のホームページをご覧ください。

1-2 添付品を確認する

設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、Aterm インフォメーションセンターにお問い合わせください。

構成品

WL11AP 本体



スタンド



AC アダプタ



ETHERNET ケーブル
(ストレート)



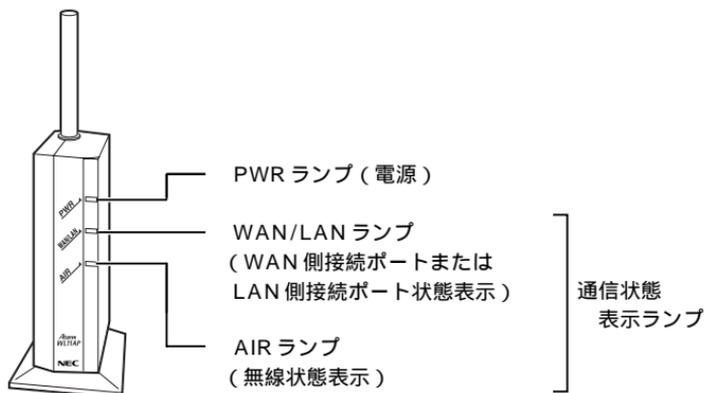
取扱説明書 (本書)

1

はじめにお読みください

1-3 各部の名前とはたらき

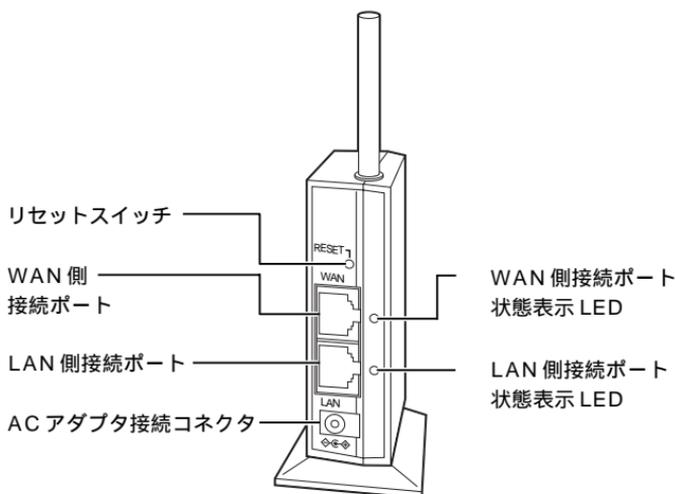
前面図



【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態	状態
PWR (電源)	緑(点灯)	電源が入っているとき
	消灯	電源が入っていないとき
WAN/LAN (WAN 側接続ポート または LAN 側接続 ポート状態表示)	緑(点灯)	WAN 側接続ポートまたは LAN 側接続ポートの リンクが確立しているとき
	緑(点滅)	WAN 側接続ポートまたは LAN 側接続ポートで データ送受信中
	消灯	WAN 側接続ポートまたは LAN 側接続ポートの リンクが確立していないとき
AIR (無線状態表示)	緑(点灯)	無線通信待機中
	緑(点滅)	WARPSTAR サテライト(子機)とのデータを送 受信しているとき

背面図



1

はじめにお読みください

名称	説明	
リセットスイッチ (RESET)	初期化するときに使用します。	
WAN側接続ポート (WAN) (100BASE-TX/10BASE-T)	ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) と接続します。	
LAN側接続ポート (LAN) (100BASE-TX/10BASE-T)	有線で接続したいパソコンまたはゲーム機などがある場合は、こちらに接続します。	
ACアダプタ接続コネクタ	添付のACアダプタを接続します。	
WAN側接続ポート 状態表示LED	緑 (点灯)	WAN側接続ポートのリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	WAN側接続ポートでデータ送受信中
	消灯	WAN側接続ポートのリンクが確立していないとき
LAN側接続ポート 状態表示LED	緑 (点灯)	LANのリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	LANポートでデータ送受信中
	消灯	LANのリンクが確立していないとき



2

設置・接続

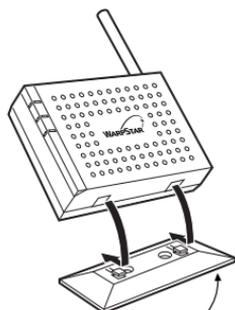
2-1	WL11APを設置する	2-2
2-2	WL11APを接続する	2-3

2-1 WL11AP を設置する

縦置きスタンドを取り付ける

図のように縦置きスタンドを取り付けます。

設置の際は無線状態を最適にするためアンテナが垂直になるように設置してください。また、スタンドは粘着シートで固定することができます。底面の透明シートをはがしてお使いください。



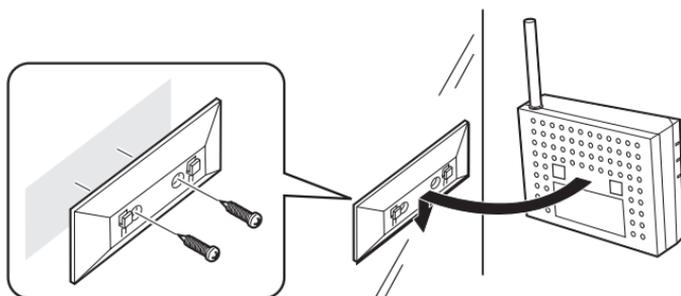
粘着シート（透明シートをはがしてお使いください）



お知らせ

粘着シートはくり返し付けることができますが、粘着性が低下することがあります。その場合は、水や中性洗剤等で洗うことにより、粘着性が戻ります。

また、固定場所によっては、接着面の塗装等がはげる場合がありますので、ご注意ください。図のように壁に取り付けることもできます。

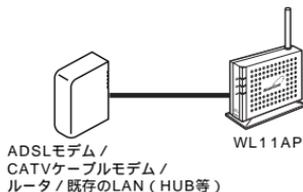


壁に取り付ける際は、透明シートをはがさずネジで取り付けてください。

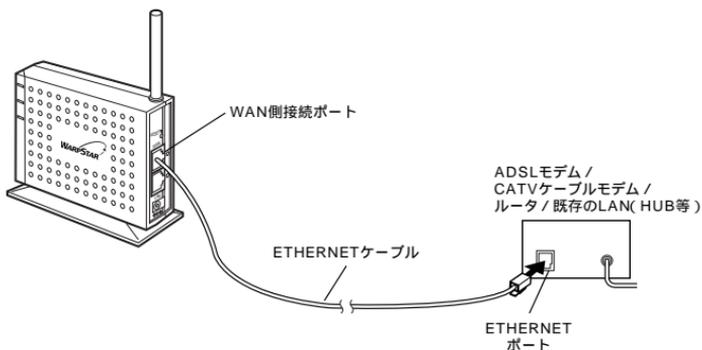
（ネジは添付されておりません。 3mm のネジをお買い求めのうえ、取り付けてください。）

2-2 WL11AP を接続する

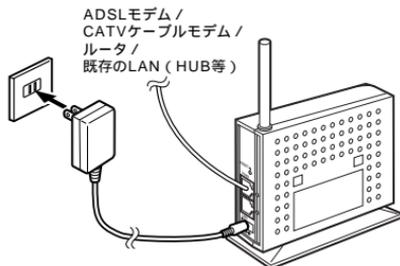
WL11AP と ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) を接続します。



- 1 ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) の電源が入っていることを確認する
- 2 WL11AP の WAN 側接続ポートと ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) の ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで接続する



- 3 AC アダプタを WL11AP に取り付ける
- 4 WL11AP の AC アダプタを電源コンセントに接続する

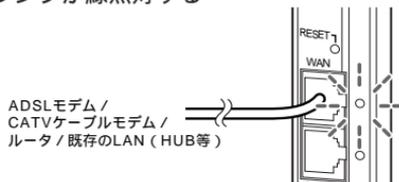


(次ページに続く)

5 WL11APのPWRランプが緑点灯することを確認する



6 WL11APのWAN側接続ポートとADSLモデム/CATVケーブルモデム/ルータ/既存のLAN(HUB等)が正しく接続されていると、WL11APの背面のWAN側接続ポート状態表示LEDおよび前面のWAN/LANランプが緑点灯する



お知らせ

ADSLモデム/CATVケーブルモデム/ルータ/既存のLAN(HUB等)の電源は、あらかじめ入れておいてください。



3

設定する

3-1	WL11AP を設定する	3-2
3-2	子機を使用する	3-21
3-3	WWW ブラウザでの設定について	3-34

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

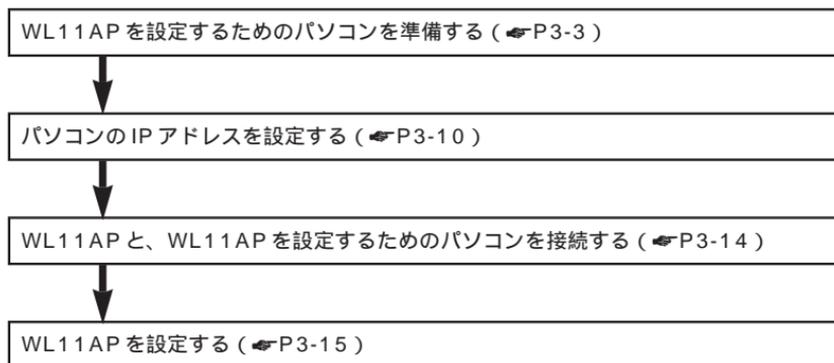
3-1 WL11APを設定する

WL11APの設定は、すでに設定済みの状態で出荷しておりますので、ここでの設定は必要ありません。ただし、WL11APを初期化した場合は、無線設定が初期化されます（WL11APの初期値 [☞P4-5](#)）ので、ここで再設定を行ってください。

また、ネットワーク名（ESS-ID）、暗号化キー（WEP）の変更を行う場合や、ESS-IDステルス機能（[☞P3-20](#)）、MACアドレスフィルタリングの設定を行う場合は、ここで設定を行ってください。

WL11APを設定するためには、ETHERNETケーブルで直接接続したWWWブラウザを搭載しているパソコンが必要です。ゲーム機から設定することはできません。また、ワイヤレスで接続したパソコンからの設定は行わないでください。

WL11APの設定は次のような手順で行います。



パソコンを準備する

設定用のパソコンにETHERNETポートが装着されていない場合

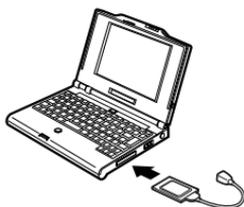
設定を行うには、パソコンにETHERNETポートの準備が必要です。お使いのパソコンにETHERNETポートがない場合は、WL11APの設置を始める前に、LANボードまたはLANカードを取り付けて、増設してください。

取り付け後は、LANボード／LANカードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。正しく動作していない場合は、先にLANボード／LANカードの問題を解決してからWL11APの設置を行ってください。

ノート型パソコンの場合

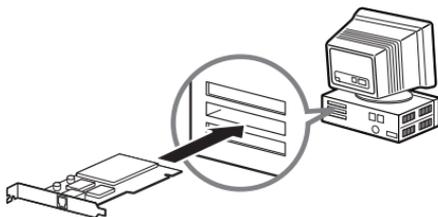
ノート型パソコンの場合は、PCカードスロットにLANカードを取り付けます。（内蔵されている場合もあります）

PCカードスロットの規格や添付ソフトには種類があるので、お使いのパソコンに対応したLANカードをご利用ください。



デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合

デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合は、拡張スロットにLANボードを取り付けます（内蔵されている場合もあります）。スロットにはPCIやISAなどの種類があるので、お使いのパソコンで空いているスロットの種類を確認してから対応したLANボードを取り付けてください。



WWW ブラウザのバージョンを確認する

WL11APを設定するためのWWWブラウザは以下のバージョンに対応しています。

- ・ Microsoft Internet Explorer 5.5 以上 (Windows 版)
- ・ Microsoft Internet Explorer 5.1 以上 (Mac 版)
- ・ Netscape 6.1 以上 (Windows 版)
- ・ Netscape 6.01 以上 (Mac 版)

指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。正しくご使用いただくためには、指定のブラウザでご使用ください。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザの設定を「ダイヤルアップ接続しない」に変更します。

以下はWindows® XPでInternet Explorer 6.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境(プロバイダやソフトウェア等)によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Internet Explorerのアイコンをダブルクリックして、Internet Explorerを起動します。

[ツール]の[インターネットオプション]を選択します。

[接続]タブをクリックします。

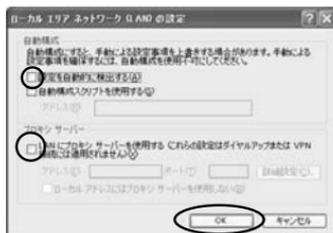
ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない]を選択してください。



[LANの設定]をクリックします。

「設定を自動的に検出する」と[LANにプロキシサーバーを使用する]のをはずして、[OK]をクリックします。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



[OK]をクリックします。



お知らせ

プロバイダ専用のCD-ROMやパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム(プロバイダへの申し込みソフト)は、ダイヤルアップ接続(モデムやターミナルアダプタの接続)専用のものがあります。その場合、本商品にLAN接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

WWWブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

Internet Explorer の場合

Windows® XP の場合 (Internet Explorer のバージョン 6.0 の例です。)

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [クラシック表示に切り替える] - [インターネットオプション] をダブルクリックする
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
- 3 [サイト] をクリックする
- 4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックをはずす
- 5 [次の Web サイトをゾーンに追加する] に「http://192.168.0.202/」を入力して [追加] をクリックする
WL11AP の IP アドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。
(IP アドレスの変更 ← P3-36)
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き (矢印) をクリックし、画面をスクロールする



- 8 [アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 9 [OK] をクリックする

Mac OS Xの場合 (Internet Explorerのバージョン 5.1 の例です。)

- 1 インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの [Explorer] から [環境設定] をクリックする
- 2 [Web ブラウザ] から [セキュリティゾーン] をクリックする
- 3 [ゾーン] から [信頼済みサイトゾーン] をクリックする
- 4 [サイトの追加] をクリックする



- 5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックをはずす
- 6 [追加] をクリックする
- 7 「http://192.168.0.202/」と入力する
WL11APのIPアドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。
(IPアドレスの変更 ← P3-36)
- 8 [OK] をクリックする
- 9 [Web ブラウザ] から [Web コンテンツ] をクリックする
- 10 [アクティブコンテンツ] で、[スクリプトを有効にする] にチェックを入れる
- 11 [OK] をクリックし、メニューバーの [Explorer] から [Explorer 終了] をクリックする

アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

セキュリティレベルを「高」に設定している場合、またはカスタム設定で [スクリプト] の [スクリプトの実行] を「無効」に設定している場合には、同現象が発生します。設定時にセキュリティレベル「低」に変更していただくかカスタム設定の [スクリプトの実行] を「有効」に設定してください。

Netscape の場合

Windows® XP の場合 (Netscape のバージョン 7.0 の例です。)

- 1 Netscape を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする
- 4 [Javascript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックする

Mac OS の場合 (Netscape のバージョン 6.1 の例です。)

- 1 Netscape を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] を選択する
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] をクリックする
- 4 [Javascript を有効にする] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックし、メニューバーの [Netscape] から [Netscape を終了] をクリックする

アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

3

設定する

パソコンのIPアドレスを設定する

WL11APに接続したパソコンからWL11APの設定を行うには、パソコンのIPアドレスの設定が必要です。

あらかじめパソコンとWL11APが正しく接続されていることを確認してください。
(☛P3-14)

！パソコンのIPアドレスについて

WL11APの設定が終了したあとは、お使いのADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) に合わせたIPアドレスに設定を戻してください。

WL11APの設定時：192.168.0.XXX

(XXXは2～199、204～254の任意の数字)

例：192.168.0.222



設定

192.168.0.202

WL11AP

[参考] WL11APの設定後の例：お使いのADSLモデム / CATVケーブルモデム / ルータ / 既存のLAN (HUB等) に合わせたIPアドレス

例：192.168.1.2



WL11AP

例：192.168.1.1

ADSLモデム /
CATVケーブルモデム /
ルータ / 既存のLAN (HUB等)

例：192.168.1.3



WL11CB /
WL11CA /
WL11C

例：192.168.1.4



WL11U

Windows® Me/98/98SEの場合

[スタート] [設定] [コントロールパネル]を選択する。

ネットワークのアイコンをダブルクリックする。

リストの中のTCP/IPプロトコルのうちWL11APに接続しているネットワークアダプタ名を選択し、[プロパティ]をクリックする。



[IPアドレス]タブをクリックする。

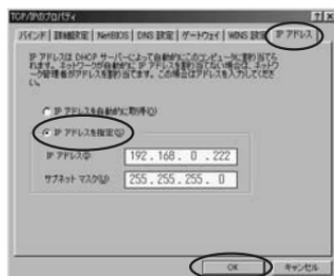
[IPアドレスを指定]をクリックして、IPアドレス、サブネットマスクに次のように入力する。

IPアドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～199、204～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：

255.255.255.0



[OK]をクリックする。

[OK]をクリックし、画面の指示に従ってWindows®を再起動する。

Windows® XP/2000 Professionalの場合

画面はWindows® XPの例です。

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [クラシック表示に切り替える] [ネットワーク接続]をクリックする。

WL11APを使用しているネットワークアダプタ名の [ローカルエリア接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする。

リストの中から [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする。



[次の IP アドレスを使う] をクリックして、IP アドレス、サブネットマスクに次のように入力する。

IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 199、204 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク :

255.255.255.0



[OK] をクリックする。

[閉じる] または [OK] をクリックする。

Mac OS 8.x/9.x の場合

アップルメニューの [コントロールパネル] - [TCP/IP] を開く。

[経由先] を [Ethernet] にする。

[設定方法] を [手入力] にし、[IP アドレス] と [サブネットマスク] を次のように入力する。

IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 199、204 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク :

255.255.255.0

画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。



確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Mac OS X の場合

アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンをクリックする。

[表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[設定] を [手入力] にする。

[IP アドレス] と [サブネットマスク] を次のように入力する。

IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 199、204 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク :

255.255.255.0

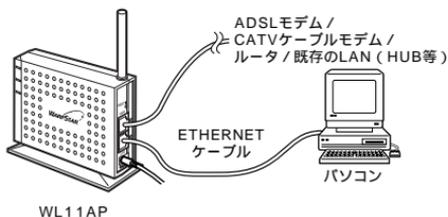
[今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる。
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。



WL11AP にパソコンを接続する

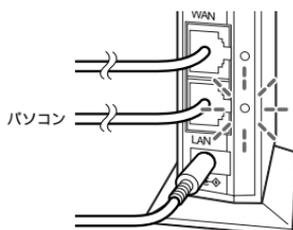
WL11AP と、設定するためのパソコンを接続します。

- 1 WL11AP の電源が入っていることを確認する
- 2 WL11AP の LAN 側接続ポートとパソコンの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで接続する



- 3 WL11AP の LAN 側接続ポートとパソコンが正しく接続されていると、WL11AP の背面の LAN 側接続ポート状態表示 LED が緑点灯する

WL11AP の WAN 側接続ポートに ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) が接続されていれば、背面の WAN 側接続ポート状態表示 LED も緑点灯します。



WL11APを設定する

WL11APの設定を行います。

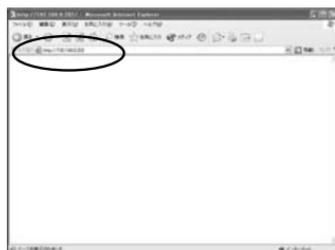
工場出荷状態では、以下の設定は不要です。

ただし、必要に応じてESS-IDステルス機能（☞P3-20）、MACアドレスフィルタリングをお使いいただく場合は、以下で設定を行ってください。

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動して、「http://192.168.0.202/」と入力し、設定画面を開く

WL11APのIPアドレスを変更した場合はそのアドレスを入力してください。（IPアドレスの変更☞P3-36）



3 ユーザー名とパスワードを入力する

ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには「public」と入力してください。（「admin」・「public」は、半角小文字で入力してください。）

ユーザー名（管理者名）、パスワード（管理者パスワード）を変更した場合は、設定した値を入力してください。



パスワードはあとで変更してください。（☞P3-37）

4 [OK]をクリックする

5 [無線設定]をクリックする

6

[ネットワーク名]を入力する

ネットワーク名は、無線ネットワーク内で使用するネットワーク名（任意な固有の名前）を入力してください。使用できる文字は英数半角文字、半角記号で最大半角32文字までとなります。

工場出荷時は、設定済みになっています。ただし、初期化した場合は初期値の [WARPSTAR] になりますので、無線 LAN 設定ラベル（本体底面に貼付のラベル）のネットワーク名に書き替えてください。



アクセスポイント名と使用チャンネルは特に変更する必要はありません。

ただし、複数のアクセスポイントを使用する場合や、他の無線 LAN が同一のチャンネルを使用している場合は、無線干渉が発生することがありますので、使用するチャンネルを4チャンネル以上離して設定してください。

7

[設定]をクリックする

「設定が完了しました」という画面が表示されます。

8

[セキュリティ]をクリックする



9

暗号化 (WEP) の設定を行う

無線ネットワーク内を暗号化する場合、以下の手順で設定を行ってください。

暗号化の詳細については、P3-20を参照してください。

[送受信データの暗号化] を [暗号化する] にチェックします。

暗号化強度を [64bit] [128bit] から選択します。

暗号化キーを入力します。

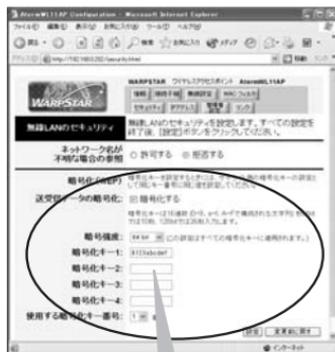
暗号化キーは4種類登録することができます。(0~9、a~f、A~Fで構成される16進数で [64bit] の場合は10桁、[128bit] の場合は26桁で入力します) 使用する暗号化キー番号を選択します。

工場出荷時は、暗号化キー1番が設定済みになっています。ただし、初期化した場合は設定がクリアされますので、無線LAN設定ラベル (本体底面に貼付のラベル) の暗号化キーに設定し直してください。(暗号化強度は [64bit] を選択してください。)



10

他の無線子機から接続できるアクセスポイントを検索されたときに表示しないようにする場合は、[ネットワーク名が不明な場合の参照] の設定を、[拒否する] にチェックする [拒否する] にチェックすることにより、ネットワーク名に設定した子機とのみ無線接続するようになります。(ESS-IDステルス機能 P3-20 参照)



暗号化キーの入力例：

[64bit] の場合 (16進数 / 10桁)
0123abcdcf

[128bit] の場合 (16進数 / 26桁)
0123456789abcdef9876543210

3

設定する



(次ページに続く)

- 11 [設定] をクリックする
「設定が完了しました」という画面が表示されます。

12 MAC アドレスによる接続制限を行わない場合は手順 16 へ、行う場合は手順 13 へ進む

- 13 [MAC フィルタ] をクリックする

- 14 MAC アドレスフィルタリングの設定を行う

あらかじめ登録しておいた MAC アドレスを持つ子機とのみ無線接続できるようにできます。

[MAC アドレスによる接続制限] を「行う」にチェックして、子機の MAC アドレスを入力してください。

子機の MAC アドレスは 16 件まで登録できます。

子機が WL11E2 の場合は、WL11E2 に接続されているパソコンなどの端末の MAC アドレスを入力してください。(パソコンの MAC アドレスの確認方法については P3-19 を参照してください。) また、子機の WL11E2 に複数台の端末を接続する場合は、すべての端末の MAC アドレスを入力してください。

ただし、WL11E2 では、複数台接続している端末の MAC アドレスのうちいずれか 1 つに変換されますので、MAC アドレスを登録していない端末でも、接続できることがあります。



- 15 [設定] をクリックする
「設定が完了しました」という画面が表示されます。

- 16 [再起動] をクリックする
WL11AP が再起動し、設定が登録されます。



以上で設定は終了です。

この他の設定内容を変更する場合は、「3-3 WWW ブラウザでの設定について」3-18 (P3-34) を参照してください。

！ 重要

WL11APの設定が終了したあとは、パソコンのIPアドレスの設定をお使いのネットワーク環境に合わせて戻してください。



お知らせ

パソコンのETHERNETポートのMACアドレスは下記の手順で確認してください。

< Windows® Me/98の場合 >

[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

“winipcfg” と入力し、[OK] をクリックします。

Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウからEthernetアダプタ名を選択します。

「アダプタアドレス」を確認します。

< Windows® 2000の場合 >

[スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。

“ipconfig/all” と入力し、「Enter」キーを押します。

「Physical Address」を確認します。

< Windows® XPの場合 >

[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。

“ipconfig/all” と入力し、「Enter」キーを押します。

「Physical Address」を確認します。

Mac OS X でInternet Explorerをご利用の場合、WWWブラウザでの設定が反映されなことがあります。その場合には、以下の手順でキャッシュの設定を行ってください。

Internet Explorerを起動し、メニューバーの[Explorer] - [環境設定] をクリックします。

[Webブラウザ]の[詳細設定] をクリックします。

[キャッシュ] - [ページの更新] を [常に] にチェックします。



[OK] をクリックします。

ESS-ID ステルス機能

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（ESS-ID と呼びます）があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信できません。一般にネットワーク名は検索することができますが、この機能を設定することにより、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に 응답しないようにすることができます。

ただし、ご使用いただく他社製の無線 LAN 機器によっては、正常に接続できなくなる可能性があります。その場合は、その子機の使用をおやめいただくか、ESS-ID ステルス機能を OFF にしてご使用ください。

WEP について

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を WL11AP と子機に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、WL11AP と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

暗号化を行う場合

暗号化通信の利用可否表

親機	子機側			
	WL11U	WL11C	WL11CA/CB	WL11E2
WL11AP				

同一無線ネットワークにおいて 64bitWEP と 128bitWEP の混在はできません。

の組み合わせでは、128bitWEP および 64bitWEP が使用できます。

の組み合わせでは、64bitWEP のみが利用できます。

128bitWEP は、40bit 鍵の 64bitWEP を拡張して 104bit 鍵にした暗号化機能です。

WL11E（サテライトモード）はワイヤレス子機としてご利用になれません。

3-2 子機を使用する

子機を WL11AP に接続して使用するには、WL11AP に合わせたネットワーク名と暗号化の設定を行う必要があります。

使用する子機によって設定方法が異なりますので、下記を参照してください。

WL11CB / WL11CA / WL11C / WL11U を使用する場合

WL11CB / WL11CA / WL11C / WL11U を子機として使用する場合は、子機に添付の CD-ROM でドライバのインストールとユーティリティからの無線設定が必要です。

次ページ以降 (P3-22 ~ 3-32) では、WL11CB / WL11CA を例に、WARPSTAR サテライト (子機) の設定について説明します。(WL11C / WL11U の場合はそれぞれの取扱説明書を参照してください。) なお、CD-ROM のバージョンによっては画面が違ふことがあります。パソコンと子機の接続方法については子機の取扱説明書を参照してください。

WL11E2 を使用する場合

WL11E2 を子機として使用する場合は、WL11E2 取扱説明書に従って設定を行ってください。

無線 LAN 内蔵パソコンや他社製の子機を使用する場合

無線 LAN 内蔵パソコンや他社製の子機を使用する場合は、ネットワーク名と暗号化の設定を WL11AP と同じ設定にする必要があります。設定方法については、ご使用になる子機の取扱説明書をご覧ください。

また、ご使用いただく他社製の無線 LAN 機器によっては、ネットワーク名が不明なときの参照を拒否する機能 (ESS-ID ステルス機能 (P3-20)) を使った場合などは、正常に接続できなくなる可能性があります。その場合は、その子機の使用をおやめいただくか、ネットワーク名が不明なときの参照を拒否する機能を OFF にしてご使用ください。

接続できる機器は、つなぎかたガイドのインフォメーションサービスに記載のホームページで確認してください。

以下では、WL11CB/WL11CA を例に、子機の設定について説明します。

WL11CB/WL11CA を設定する

WL11CB/WL11CA を子機として使用するための設定を行います。

子機間通信（アドホックモード）でお使いになる場合は子機に添付の CD-ROM に収録されている機能詳細ガイド（HTML ファイル）を参照してください。

Windows® XP の場合（ワイヤレスネットワークの設定）

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されているワイヤレスネットワークの設定で設定します。サテライトマネージャで設定することはできません。

親機（WL11AP）が暗号化設定している場合（☛ 下記）

親機（WL11AP）が暗号化設定していない場合（☛ P3-25）

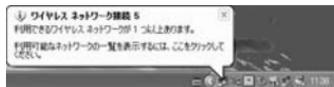
工場出荷状態では、親機（WL11AP）はすでに暗号化設定されています。

親機（WL11AP）が暗号化設定している場合

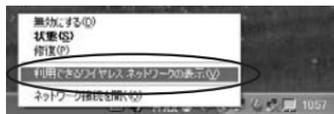
以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して 64bitWEP/128bitWEP をご利用になる場合の説明です。

暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなパルーンが表示される



2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする



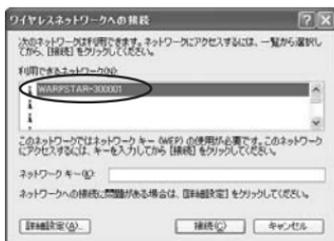
3 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・ AtermWL11AP の工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」です。（xxxxxx は、WL11AP 本体底面に貼付のラベルに記載してあります）
- ・ 親機で ESS-ID ステルス機能を使用している場合、「利用できるネットワーク」にネットワーク名が表示されません。以下の手順でネットワーク名を設定してください。

[詳細設定] をクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の画面で [追加] をクリックする
「ワイヤレスネットワークのプロパティ」でネットワーク名を入力する

手順 6 に進む



4 [詳細設定] をクリックする

5 接続する親機 (WL11AP) のネットワーク名をクリックし、[構成] をクリックする

ネットワーク名が [優先するネットワーク] に表示されている場合は、[優先するネットワーク] 欄からネットワーク名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

6 ~ の設定を行う

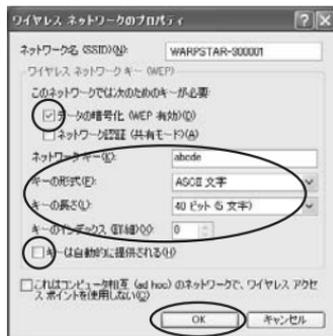
[データの暗号化] にチェックする
[キーは、自動的に提供される] のチェックをはずす
[ネットワークキー] は、親機 (WL11AP) に入力した暗号化キーを入力してください。

キーの形式：
WL11AP の場合は、16 進数となりますので、16 進数を選択してください。

キーの長さ：
親機で「暗号強度」を標準 (64bit) と設定した場合は、40bit を選択してください。
親機で「暗号強度」を拡張 (128bit) と設定した場合は、104bit を選択してください。

WL11AP が工場出荷時の設定の場合は、40bit を選択してください。

<Windows® XP Service Pack 1 のとき>



(次ページに続く)

3

設定する

キーのインデックス：

お使いの親機の「使用する暗号化キー」の番号から、1を引いた数をキーのインデックスに入力してください。

(親機では、使用する暗号化キーは1～4ですが、ワイヤレスネットワークでは、0～3となっているためです。双方のキーを設定する“テーブル”を合わせないと、通信が行えません)

[OK]をクリックする

<親機(WL11AP)の工場出荷時の設定>

使用する暗号化キー：1番

暗号化強度：64bit

指定方法：16進(10桁)

暗号化キー：

WL11APの底面に貼ってあるラベルに記載されているWEP(無線暗号化キー、10桁の値)

! 暗号化設定<Windows® XP Service Pack1の場合>

Windows® XP Service Pack1をインストールした場合、手順6の画面が異なります。

以下の手順で設定を行ってください。

[データの暗号化]にチェックする

[キーは、自動的に提供される]のチェックをはずす

[ネットワークキー]は親機に入力した暗号化キーを入力する

[ネットワークキー]を入力したら、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII文字の場合：英数字5文字、または13文字で指定(13文字は親機に128bitWEPの設定をした場合のみ)

・16進数の場合：0～9・A～Fで10文字、または26文字で指定(26文字は親機に128bitWEPの設定をした場合のみ)

親機の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

[キーのインデックス]1～4番は、WARPSTARベースの[使用する暗号化キー]1～4番に相当します。

[キーのインデックス]にお使いの親機の

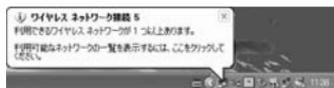
[使用する暗号化キー]を入力する

[OK]をクリックする

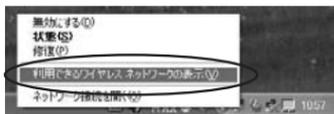


親機 (WL11AP) が暗号化設定していない場合

1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される



2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする



3 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・使用する親機 (WL11AP) のネットワーク名を選択してください。

- ・[利用できるネットワーク] に使用する親機が表示されていない場合は、次ページの「?こんなときは」を参照してください。Windows® XP Service Pack 1 の場合は、「セキュリティで保護されていなくても選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて [接続] をクリックしてください。

- ・親機で ESS-ID ステルス機能を使用している場合、「利用できるネットワーク」にネットワーク名が表示されません。以下の手順でネットワーク名を設定してください。

[詳細設定] をクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の画面で [追加] をクリックする
「ワイヤレスネットワークのプロパティ」でネットワーク名を入力する

[OK] をクリックする

[OK] をクリックする

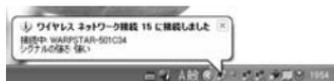
手順 4 に進む

4 [接続] をクリックする



3
設定する

5 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する



? こんなときには

手順3で[利用できるネットワーク]に親機が表示されていない場合は、次の手順を行ってください。

手順3の画面で[詳細設定]をクリックする

[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]の[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、[利用できるネットワーク]の[最新の情報に更新]をクリックする
[利用できるネットワーク]を選択して、[構成]をクリックする
ネットワーク名とワイヤレスネットワークキーを確認して、[OK]をクリックする
[OK]をクリックする

親機(WL11AP)が暗号化などのセキュリティ設定がされている場合には、[利用できるネットワーク]に親機が表示されないことがあります。親機に合わせた暗号化設定を行うか、親機の設定を解除してください。親機(WL11AP)の暗号化設定の確認方法と解除方法については、P3-15を参照してください。

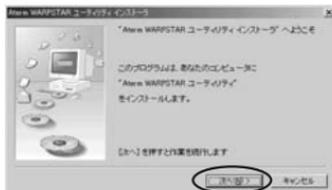
Windows® Me/2000 Professional/98SE/98 の場合 (サテライトマネージャ)

子機に添付の CD-ROM に収録されているユーティリティ、サテライトマネージャをインストールすることによって、子機の設定を行うことができます。

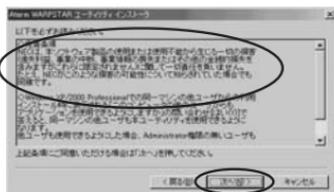
サテライトマネージャは、WL11CB/WL11CA の無線の通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN のデータ保護 (暗号化) の設定を行うことができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにもデータ保護の設定を行うことをお勧めします。

サテライトマネージャをインストールする

- 1 Windows®Me/2000 Professional/98SE/98 を起動する
- 2 子機に添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
メニュー画面が表示されます。
メニューが表示されないときは (←P3-29)
- 3 [WARPSTAR ユーティリティのインストール] をクリックする
- 4 [次へ] をクリックする
- 5 [次へ] をクリックする



- 6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする



- 7 [サテライト]を選択し、[次へ]をクリックする

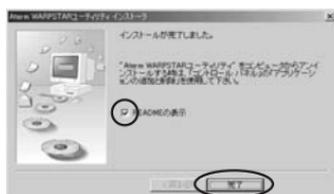


- 8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



- 9 [はい]をクリックする
インストールが開始されます。

- 10 [READMEの表示]にチェックが入っている(☑)ことを確認し、[完了]をクリックする



- 11 READMEをよく読み、[README]画面を閉じる
インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。



「通信する親機を選択する」(P3-29)に進みます。

② サテライトマネージャを起動するには

サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときには、[スタート]をクリックし、[プログラム]—[Aterm WARPSTAR ユーティリティ]—[サテライトマネージャ]をクリックします。

📢 お知らせ

子機に添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥Menu.exe)

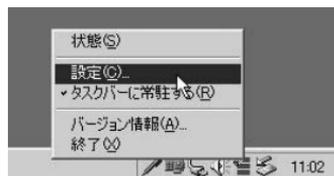
Windows® 2000 Professional でサテライトマネージャをインストールするには、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてもインストールできないときは、子機に添付の CD-ROM に収録されている「お困りのときには」を参照してください。

通信する親機を選択する

- 1 サテライトマネージャを起動する
[スタート] - [プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする
タスクトレイにある [サテライトマネージャ] が表示されます。

- 2 タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[設定] を選択する



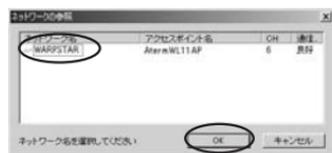
- 3 [基本] タブをクリックする

- 4 [通信モード]で[アクセスポイント通信]を選択する



- 5 [ネットワークの参照]をクリックする

- 6 接続先のネットワーク名をクリックして、[OK]をクリックする
Aterm WL11APの出荷時設定は、WARPSTAR-xxxxxxです。(xxxxxxはWL11AP本体底面に貼付のラベルに表示されています)



- 手順4で「ネットワーク名」を直接入力しても設定できます。
同じネットワーク名が複数表示される場合は、いずれかをクリックしてください。
親機でESS-IDステルス機能を使用している場合は、ネットワーク名が表示されません。手順4でネットワーク名を直接入力してください。

- 7 [OK]をクリックする



親機に暗号化の設定がされている場合は、「暗号化の設定をする」(☞P3-31)に進みます。

親機に暗号化の設定がされていない場合は、「サテライトマネージャで親機との通信状態を確認する」(☞P3-32)に進みます。

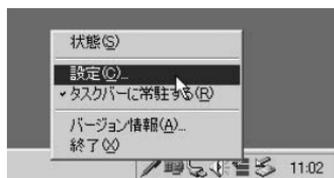
暗号化の設定をする

暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

工場出荷時は、親機（WL11AP）に暗号化設定がされていますので、以下の設定を行ってください。

- 1 サテライトマネージャを起動する
[スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ]をクリックする
タスクトレイにある [サテライトマネージャ] が表示されます。

- 2 タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[設定] を選択する



- 3 [データ保護] タブをクリックする

- 4 暗号化の設定をする

通信する相手の機器（親機、パソコン間通信の場合は、子機）と設定値を同じにしてください。

[データ保護を有効] にチェックを入れます。

「使用する暗号化キー」を入力します。

設定した暗号化キー（最大4個）のうち使用する暗号化キーのキー番号を設定します。

「暗号強度」を「64bit」「128bit」から選択します。

WL11AP の設定に合わせて選択してください。

「指定方法」で [16進数] を選択し、「暗号化キー」を入力します。

親機がWL11APの場合は、16進数となりますので、0～9、a～f、A～Fで構成される文字列（16進数）で、「64bit」の場合は10桁、「128bit」の場合は26桁で入力します。



<親機 (WL11AP) の工場出荷時の設定>
使用する暗号化キー：1番
暗号化強度：64bit
指定方法：16進（10桁）
暗号化キー：

WL11APの底面に貼ってあるラベルに記載されている WEP（無線暗号化キー、10桁の値）

- 5 [OK] をクリックする

サテライトマネージャで親機との通信状態を確認する

サテライトマネージャで通信している親機や子機間との通信状態をサテライトマネージャアイコンで確認することができます。

タスクトレイにある「サテライトマネージャ」のアイコンを表示



：WL11CB/WL11CA が正しく接続されていません。



：親機が見つかりません。



：通信相手の子機が見つかりません（パソコン間通信のとき）。



：親機または通信相手の子機（パソコン間通信のとき）が正しく検出できています。

サテライトマネージャのアイコンが  のように表示されれば設定は完了です。

！ サテライトマネージャの使い方

タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

[状態] :

親機との通信状態を詳細に確認することができます。

無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは、「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。アクセスポイント名が正しく表示されていることも確認してください。

[設定] :

サテライトマネージャの設定データ（プロファイル）が選択できます。通信モードの設定、無線のネットワーク名、子機のデータ保護設定をすることができます。

[タスクバーに常駐する] :

[タスクバーに常駐する] にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[バージョン情報] :

ソフトウェアバージョンにはサテライトマネージャのバージョンが、無線カード F/W バージョンには WL11CB/WL11CA のファームウェアのバージョンが表示されます。

[終了] :

サテライトマネージャを終了します。

インターネット接続を確認する

WL11AP に接続した ADSL モデムなどの取扱説明書を参照して、インターネットなどに接続できることを確認してください。

3-3 WWW ブラウザでの設定について

WWW ブラウザの設定画面のそれぞれの項目について説明します。
設定の変更が必要な場合は、設定を行ってください。



WWW ブラウザの設定画面の起動方法

WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.0.202/」と入力して、ユーザー名「admin」・パスワード「public」を入力してください。
(ユーザー名・パスワードはP3-37の[管理者設定]で変更することができます。)

設定の登録方法

それぞれのページで[設定]をクリックしたあと、[再起動]をクリックしてください。

WL11APを再起動し、設定をWL11APに書き込みます。

情報

WL11APの基本情報が表示されます。

現在の情報は、30秒ごとに自動更新されます。すぐに表示させたい場合には、WWW ブラウザの[更新](Internet Explorerの場合)または[現在のページの再読み込み](Netscapeの場合)をクリックしてください。



ファームウェアバージョン : WL11APのファームウェアバージョンが表示されます。
MACアドレス : WL11APのMACアドレスが表示されます。
IPアドレス : WL11APのIPアドレスが表示されます。

接続子機

無線で接続されている子機の MAC アドレスが表示されます。子機が WL11E2 の場合は、WL11E2 に接続されているパソコンなどの端末の MAC アドレスが表示されます。現在の情報は、30 秒ごとに自動更新されます。すぐに表示させたい場合には、WWW ブラウザの [更新] (Internet Explorer の場合) または [現在のページの再読み込み] (Netscape の場合) をクリックしてください。



無線設定

ネットワーク名や使用するチャネルなどの無線設定を行います。設定については、P3-16 の手順 6 を参照してください。

MAC アドレスフィルタリング

MAC アドレスを登録することで接続できる子機を制限できます。設定については、P3-18 の手順 14 を参照してください。

無線 LAN のセキュリティ

無線 LAN のセキュリティ (暗号化 (WEP) など) の設定を行います。設定については、P3-17 の手順 9 を参照してください。

IP アドレス



- IP アドレス : WL11AP のIP アドレスを設定します。
000.000.000.000 の形式で設定してください。(初期値は 192.168.0.202 です)
- ネットマスク : ネットマスクを設定します。(初期値は 255.255.255.0 です)

管理者設定



管理者名の変更 : 管理者名（ユーザー名）を変更できます。（工場出荷時は「admin」に設定されています）

管理者パスワードの変更 : 管理者パスワード（パスワード）を変更できます。（工場出荷時は「public」に設定されています）
使用できる文字は英数半角文字と半角記号で最大半角 15 文字まで設定できます。

ユーザー名またはパスワードを入力したあとは、[設定] をクリックしてください。

WARPSTAR 再起動 : [再起動] をクリックすると、WL11AP を再起動します。設定を変更したときは、それぞれのページで [設定] をクリックしたあと、このボタンで WL11AP を再起動することで、設定が有効になります。

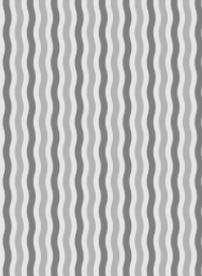
初期設定値に戻す : [初期設定値に戻す] をクリックすると WL11AP の設定値が初期値に戻ります。

工場出荷時はネットワーク名（ESS-ID）と暗号化（WEP）が設定済みになっています。[初期設定値に戻す]（初期化）をクリックするとネットワーク名と暗号化がクリアされて通信ができなくなりますのでご注意ください。

リンク

AtermStationのホームページにリンクしています。(<http://121ware.com/aterm/>)
商品情報、資料請求、バージョンアップ、サポート情報など、Aterm について役立つ情報を掲載しています。





4

お困りのときは



4

- 4-1 トラブルシューティング 4-2
- 4-2 WL11APを初期化する 4-4

4-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WL11APを初期化し(☞P4-4)、初めから設定し直してみてください。初期化を行うとWL11APのすべての設定が初期値になりますのでご注意ください。

設置に関するトラブル

症 状		原因と対策
電源を入れたとき	PWRランプが点灯しない	電源が入っていません。 ACアダプタ(電源プラグ)がはずれている 電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 ACアダプタ(電源プラグ)がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れるとWL11APに供給されている電源も切れてしまいます。 ACアダプタ(電源プラグ)が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ(電源プラグ)をコンセントからはずしてAtermインフォメーションセンターにご連絡ください。
AIRランプが点灯しない		設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。(☞P4-4)
WWWブラウザの設定画面が表示されない		パソコンのIPアドレスが正しく設定されているか確認してください。(☞P3-10)
WL11APが正常に動作しないが、原因がわからない		設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。(☞P4-4)

通信に関するトラブル

症 状	原因と対策
通信できない	<p>電波状態が悪い。 子機を WL11AP に近づけてください。 接続されている ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) の電源が入っているか確認してください。 ADSL モデム / CATV ケーブルモデム / ルータ / 既存の LAN (HUB 等) に ETHERNET ケーブルが確実に接続されているか確認してください。 設定が正しく行われているか確認してください。(←P3-15)</p>
通信が途切れる	<p>隣接・同一フロアで同じ無線チャンネルを使用している機器があると、電波干渉が発生して通信が不安定になる場合があります。 使用する無線チャンネルを変更してください。 WWW ブラウザの設定画面を起動する。 (起動方法は P3-34 を参照してください) [無線設定] をクリックする。 [使用するチャンネル] のプルダウンメニューからチャンネルを選択する。 (初期値: 3) 目安として 4 チャンネル以上離して設定することをおすすめします。</p>

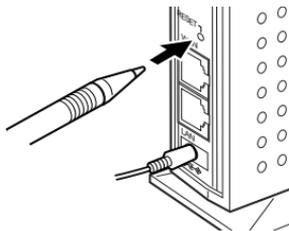
4-2 WL11AP を初期化する

WL11AP に設定した内容を消去して初期値にします。WL11AP がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL11AP を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

また、初期化すると工場出荷時の設定（無線設定、ネットワーク名と暗号化キーの設定）が消去されますので再設定が必要になります。（「WL11AP を設定する」➡P3-2）

スイッチで初期化する

- 1 WL11AP の電源が入っていることを確認する
- 2 WL11AP の背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで 2 ~ 3 秒間押し続ける



WL11AP の前面の AIR ランプが緑点滅することを確認してください。

- 3 リセットスイッチからボールペンなどはなす

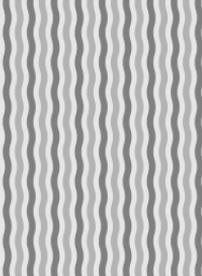
WL11APの初期値

WL11APを初期化すると、次のような設定になります。

設定項目		工場出荷時の設定値	初期値	
無線設定	アクセスポイント名	AtermWL11AP	AtermWL11AP	
	ネットワーク名 (ESS-ID)	無線LAN設定ラベル (本体底面に貼付)に記載	WARPSTAR	
	使用チャネル	チャネル3	チャネル3	
無線LANの セキュリティ	ネットワーク名が不明な場合の参照	OFF	OFF	
	暗号化 (WEP)	暗号化する	暗号化しない	
	暗号化キー	キー 1	無線LAN設定ラベル (本体底面に貼付)に記載	未設定
		キー 2		
		キー 3		
キー 4				
使用する暗号化キー番号	1	1		
MACアドレス フィルタリング	MACアドレスフィルタリング	行わない	行わない	
	接続を許可するMACアドレス	無し	無し	
IPアドレス	IPアドレス	192.168.0.202	192.168.0.202	
	ネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0	
管理者設定	管理者名 (ユーザー名)	admin	admin	
	管理者パスワード	public	public	

4

お困りのときは



5

付録

- 
- 5-1 WL11AP 製品仕様 5-2
 - 5-2 お問い合わせ 5-3

5-1 WL11AP 製品仕様

仕様一覧

項 目		諸 元
WAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T (Auto MDI-X 対応)
	伝送速度	100Mbps/10Mbps
	全二重/半二重	全二重/半二重 (自動切換)
LAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T (Auto MDI-X 対応)
	伝送速度	100Mbps/10Mbps
	全二重/半二重	全二重/半二重 (自動切換)
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b (無線 LAN 標準プロトコル) 準拠 RCR STD-33、ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格) 準拠
	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯 (2400 ~ 2497MHz) / ch1 ~ ch14
	伝送方式	DS-SS 方式 (スペクトラム直接拡散方式)
	伝送速度	11.0/5.5/2.0/1.0Mbps (自動切替)
	伝送距離	オープン (理想環境時) : 160m (11Mbps) ~ 300m (1Mbps) セミオープン (屋外) : 50m (11Mbps) ~ 100m (1Mbps) クローズド (屋内) : 25m (11Mbps) ~ 50m (1Mbps) 環境により変動
	アンテナ	ダイポールアンテナ
	セキュリティ	ESS-ID (ESS-ID ステルス機能あり) 64bit WEP / 128bit WEP MAC アドレスフィルタリング
ヒューマン インタフェース	状態表示ランプ	PWR : 電源通電時点灯
		WAN/LAN : WANもしくはLANインタフェースリンクアップ時点灯、データ通信時点滅 AIR : ワイヤレス LAN 通信待機時点灯、データ通信時点滅
	リセットスイッチ	リセットスイッチ
動作環境	温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90% (結露しないこと)	
外形寸法	約 25(W)×106(D)× 80(H)mm(突起部分を除く) [壁掛け可能]	
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz (ACアダプタ使用: 出力 5V, 2A 質量約 150g)	
消費電力	最大約 6W	
質量 (本体のみ)	約 0.13kg	

表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

5-2 お問い合わせ

本商品の輸送時のお取扱いについて

このたびは本商品をお選びいただき、まことにありがとうございます。
本商品をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

故障やレンタルの解約などで、本商品を返却する際には、本商品一式（添付品含む）をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本商品の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材に梱包ください。
返却先につきましては、「つなぎかたガイド」に記載の住所を参照してください。

お問い合わせ先

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書の「トラブルシューティング」をご参照の上、お問い合わせください。

パソコンの設置や操作方法などについては、パソコンのサポートセンターなどにお問い合わせください。

Atermの接続や設定方法などでご不明な点がありましたら、Aterm インフォメーションセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先につきましては、「つなぎかたガイド」を参照してください。

なお、インフォメーションセンターでのお問い合わせは、インターネット接続設定、初期不良、欠品、故障のお問い合わせ、商品の出荷などとさせていただきます。ご了承ください。

システム構築に関わる設定内容等につきましては、サポート範囲外とさせていただきます。

MEMO

MEMO

MEMO

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粹經濟損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お願い

- ・パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ・ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合率 100 % の再生紙を使用しています。